



一般社団法人 地球環境改革再生機構<sup>®</sup> 東京都豊島区巢鴨 1-10-3 第三川端ビル Email : [info@jwstec.co.jp](mailto:info@jwstec.co.jp)  
広島市中区舟入町 2-20 三栄広島ビル Email : [info@jws-hiroshima.com](mailto:info@jws-hiroshima.com)

## ●メキシコ コロナウィルス (COVID-19) の現状について

2020年8月31日現在、メキシコ国内でのCOVID-19の患者数は約46万人。その死亡率は約11% (約5万人)です。これほど死亡率が高い背景には食生活の問題があるように思います。(世界の平均は約3.35%)

このたびメキシコの大手医療機器メーカー「4Health社 (フォーヘルス社)」から防疫用として「Biomizer」が販売されることとなりました。メキシコでは、重度の糖尿病患者が国民の1割、1200万人います。糖尿病患者の多さが、COVID-19の死亡率の高さに繋がっていると思います。(男性は平均してコーラを1日3本以上飲む国です) プロモーションビデオや説明資料をGERホームページ (<https://global.er.net/>)で紹介していますので興味のある方はご参照ください。



4Health社のコロナウィルス対策資料  
ここで用いられているのはBiomizer pH3.4、  
O.R. P895 mVです。



メキシコでは、アメリカFDAからガン治療薬としての認可を得、またヨーロッパ基準CE、経済連協定EPA等の認可のもと、販売されています。また、ECOMIZER<sup>®</sup>は化粧水、飲料水、洗剤、農業水として国の認可を得ています。

## ●メキシコにおける糖尿病対策について

メキシコでは重度糖尿病患者の率が非常に高く大変な国民の問題になっています。

現在、こうした患者に「ECOMIZER<sup>®</sup>」が投与され、多くの改善例が示されています。この様な臨床テストが日々繰り返されており、近々医療品としての許可を受ける可能性も出てきました。下は糖尿病治療の写真ですが、1時間ごとに100mlのECOMIZER<sup>®</sup>50倍希釈の飲用、およびBiomizer、ECOMIZER<sup>®</sup>を1日5回患部に噴霧治療しています。



治療開始から1カ月経過



治療開始から3か月経過



治療開始 2018年5月8日



治療開始から約2週間経過

## ●メキシコにおけるペット対策について

メキシコには犬が国民の数（1億2000万人）と同じ数が飼われており、メキシコでも犬は家族の一員として大切にされています。犬もやはり食生活に問題があるのか多くの病気を抱えており、日常的に多く治療が行われています。

メキシコでは獣医師の資格を取るのが難しく、人間を対象とする医師よりその地位が高く、その中でも名医として名高いアントニオ・ゴンザレス博士による約1500頭に及ぶ臨床データが積み上げられています。

1頭の感染症も起こさず、治療効果が極めて高いとの結果も出ており、現在これを素に臨床データがメキシコ国立大学獣医学部でまとめられています。



犬の手術をするアントニオ博士（左）  
感染症などは全く起こしていません。



手術前



手術後

ポインター犬のガン摘出手術です。  
ここでも電解電子機能水が消毒や殺菌、手術後の早期治癒のために活躍しています。

## ●メキシコにおける農業対策につて

メキシコではアボカドを中心とした農業テストを行って参りましたが、アボカドだけでなくパイナップル、トウモロコシ、カカオ等にその対象を広げていこうとしています。

これから本格的な実践テストに入りますが、メキシコのロペス・オブラドール大統領もこのプロジェクトに大きな興味と期待を寄せており、近々メキシコ政府と打ち合わせを行う予定です。



メキシコ合衆国  
ロペス・オブラドール大統領



メキシコ・アボカド展での生成装置の展示  
多くの農民が電解電子機能水に関心を寄せています。



カビ病や害虫にも負けず、スクスクと育つ  
アボカドの木です。

## ●カンボジアにおける施設

現在、カンボジアでは 8 台の電解電子機能水®生成装置が稼働しており、農業の現場（ドリアンの生産農場）や農薬除去水として販売されています。月産約 60 トンの電解電子機能水の生成が行われており、カンボジアからタイ、マレーシア、インドネシア等にその範囲を広げる予定です。

来年には 10 台以上の生成装置を増やし、こうしたニーズに対応する予定です。

写真はカンボジアのショールーム（生成工場）の全景です。



プノンペン市内の電子機能水生成工場兼ショールーム。(1~3階)



8 台の生成装置がフル稼働しています。  
月 60 トンの ECOMIZER® が生産されています。



カンボジア・コンポンチャム州のドリアン農園  
電解電子機能水の散布によりドリアンをカビ病から守り、年間 80 トンの増産を実現しました。この動画も HP でご覧いただけます。



プノンペンの AEON では野菜売り場の隣で農薬落としての洗浄剤として、1 本 1500 円で販売されています。日本との物価の違いは約 6 倍です。



カンボジア市街地での大型散布機による電解電子機能水散布  
ECOMIZER®は、人畜無害なので人がいるような場所でも消毒・殺菌の散布が行えます。



家庭用洗剤として、手洗い液として、コロナウイルス等の殺菌剤として販売されています。

## ●日本国内の状況

2020年7月26日に「広島 Office」がオープンしました。遅まきながら日本でも市場開拓がスタートしました。日本も海外に負けてられません。



月60トン以上の生産能力を持つ生成工場です。(広島)



電解電子機能水の販売も始めました。(広島)  
左が20リットルタンク、右が1リットル容器1ダース梱包です。



電解電子機能水で栽培している青森県のニンニク畑  
周囲のニンニクはサビ病で壊滅的な被害を受けましたが、  
ここだけは病気の被害もなく、安定した収穫ができました。



綺麗にそろった青森県の特産ニンニク  
「ホホワイト6片」です。



電解電子機能水のミスト発生器 (広島)



青森県におけるニンニク生産  
植生が良く、葉が立っていて茎も太く勢いが良い。